

平成 21 年度 歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 社会教育課

評価対象期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

評価委員会開催日：平成 22 年 11 月 11 日

1 指定管理者

指定管理者	株式会社日立ビルシステム
指定期間	平成 18 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日（5 年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	9, 300 千円（5 年間計 46, 700 千円）

2 管理運営の内容

項 目	21 年度の状況
運営状況	○平等利用のための手法 ・ 接遇教育や案内資料の整備を行い、来館者への平等で均一なサービス提供に努めた。 ○自主事業の展開 ・ 研修室を利用した「源氏物語絵巻員合わせづくり」や「手作りに挑戦」「歴史講座」など各種イベントを年間 21 回開催した。 ・ 拓本教室は自主活動となり「なわて拓本の会」を指導し、市内の石造物 27 点 53 枚の拓本採集を行い平成 22 年 12 月刊行の「歴史とみどりのまちふるさと四條畷」に向けて協力するに至りました。 ○情報提供 ・ 市広報紙、資料館のホームページに資料館の催しの案内を掲載した。 ・ 平成 21 年 10 月読売新聞に特別展記事掲載。平成 22 年 1 月朝日新聞に初の市指定有形文化財 10 件を指定、資料館で展示会開催の記事掲載。1 月 24 日朝日新聞朝刊に「週刊まちぶら一四條畷駅がいいわい」で資料館を紹介記事掲載。全国的に向け四條畷市の歴史遺産を PR。 ○安全確保対策 ・ 緊急連絡先を掲示。 ・ ミーティングを適時実施し、常に状況に合わせた管理運営に努めた。 ・ 迅速なクレーム処理を行うための社内相談窓口を施設のバックアップに適用。
維持管理状況	○ 保守点検 ・ 安全面を優先しエントランスホール床シート全面張替えを実施。 ・ 施設の稼動状況に合わせ最適なメンテナンス周期を設定、基準化し適切な整備を実施。 ・ 職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した効果的な維持保全に努めた。 ○備品の管理 ・ 展示模型及び映像機器を適切に管理。 ○警備業務 ・ カメラ・モニターによる監視。 ○環境保全への取組み ・ 年間を通した空調温度の見直し。 ・ ごみ箱の供用化、種類別の設置などゴミの分別と少量化を推進。

利用状況	前年度と比較し、利用者数は全体で 8.5%の増加となった。平成 19 年度評価委員会で説明いたしましたように来館者にゆっくりと見学していただき、見学時間が長くなった。特に、市内小学校長に案内及びカリキュラムを出し、6 年生の歴史と 3 年生の昔のくらしの際には市内全 7 校が来館を受け、巖古文化研究保存会の会員の協力を得て民具の使い方の実演や縄編みを実際に行った。 ・ 学校・保育所 1,391 人 (4.5%増) ・ 一般団体 1,556 人 (52.2%増) ・ 個人 8,015 人 (3.4%増) - 合計 10,962 人
収支状況	当年予算で 47 万 4 千円の赤字を見込んでいたが、「日立共同購買サービス」の利用等により、経費縮減を行い、25 万 4 千円の赤字に圧縮した。

3 利用者へのアンケート調査

項 目	21 年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：平成 21 年 10 月 21 日～平成 22 年 3 月 31 日 調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう 回答件数：193 件
調査の結果	スタッフの対応：「満足」が約 88% 「やや満足」を含めると約 94% 展示の解説への対応：「分かった」が約 69% 「だいたい分かった」を含めると約 98%
主な苦情・意見等	・ トイレが満員になるからトイレを 2 個ぐらい作ったほうがいい。 ・ 昔学校から来ました。昔と変わらず資料館があったので家族で来ました。 ・ 懐かしい道具をみていて、ワクワクしている自分にびっくりです。 ・ 親切に御案内いただき有難うございました。展示が絵入りの説明で本当に素晴らしかった。他の会場では無い。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	総合的に「4」という評価は妥当であるが、「運営状況の適正な人員配置」については、主催・共催を含めて様々な事業を展開し、年間 1 万人を超える入館者数を確保していく中で、現行の 2 人体制について、「業務量が多くなる中でよく努力している」と判断するのか「職員の仕事量を軽減するため増員するべきではないか」と判断するのかにより、評価が別れるものと考えられる。 ただし、これまでのアンケート調査の結果などから、「大きなトラブルもなく、入館者に満足していただいている」ことなどを勘案すると、現行では「よく努力して管理運営している」と判断でき、今回の評価については妥当であるとする。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果（担当部局として非常に満足できる結果）
- 4 計画内容をやや上回る結果（担当部局として満足できる結果）
- 3 計画内容どおりの結果（担当部局として妥当と判断する結果）
- 2 計画内容をやや下回る結果（担当部局として不満が残る結果）
- 1 計画内容を下回る結果（担当部局として非常に不満が残る結果）